山形県県産木材利用施設顕彰

～やまがた しあわせウッド賞～実施要領

（制定　平成３０年７月１３日林振第４４７号）

（改正　令和２年３月２７日森林第１４１７号）

第１　目　的

県内の民間施設における木造化の取組を推進するため、県産木材を活用した木造民間施設を対象に顕彰を行い、県産木材の利用拡大に寄与することを目的とする。

第２　募集主体　　山形県

第３　対象施設

（１）原則として木造建築で、山形県内に前年度の7月1日から当該年度の6月末日までの1年間に完成した民間施設とし、一般住宅（モデルハウス等を含む）は対象外とする。

（２）施設の木工事費が全体工事費のおおむね10％以上、かつ施設に使用された建築用木材のうち、県産木材をおおむね50％以上使用している施設とする。

第４　応募対象者

応募者は、対象施設の建築主・設計者・施工者のいずれかとし、県が県産木材の利用拡

大のために公表することに賛同する方とする。

第５　応募期間　　別に定めるとおりとする。

第６　顕彰対象

　　顕彰対象者は、建築主・設計者・施工者とし、顕彰状は、顕彰対象施設に対し授与する。

第７　応募方法

応募者は、別添申請書に所定の事項を記入し、関係書類を添付したうえで提出すること。

なお、提出方法は、郵送また持参とし、提出先は、別に定めるとおりとする。

第８　添付書類

　　応募用紙に添付する書類は次のとおりとし、提出された書類等は返却しないものとする。

（１）納品書・出荷証明書等の写し（木材の産地、数量が確認できる書類）

（２）建築基準法に基づく確認済証及び検査済証の写し（確認済証及び検査済証がない

物件については審査対象外）

（３）敷地及び建物配置図、平面図、立面図の写し

（４）建築の際工夫した事項を記した書類

（５）施設の外観及び木造化・木質化箇所が分かるカラー写真

（６）全体工事費と木工事費が確認できる書類の写し

第９　審査・選考方法

別記審査判定基準に基づき「山形県県産木材利用施設顕彰審査委員会」の審査報告を受

けて、顕彰状を授与する対象施設を決定する。

第10　判定基準

県産木材の使用状況、PR効果、意匠（デザイン）の３項目において評価を行い、合計点数（100点満点）により判定する。

第11　顕彰及び公表

（１）合計点数が60点以上の施設は、民間木造施設の普及啓発のため、ホームページ等で公表する。また、合計得点の上位５施設程度に「やまがた しあわせウッド賞」を授与する。

（２）公表内容は、施設名、所在地市町村名、提出写真（外観、内部）、建築主名、設計者名、施工者名、主な木材納入業者名、創意工夫した事項、完成（竣工）日などとする。

附　則

この要領は、平成３０年７月１３日から施行する。

附　則

この要領は、令和２年３月２７日から施行する。

別　記

山形県県産木材利用施設顕彰判定基準

１ 審査委員会

審査委員会は建築関係専門家、木材産業関係団体、林業関係団体、山形県農林水産部等から選出された５名の委員により構成し、名称を「山形県県産木材利用施設顕彰審査委員会」とする。

２ 判定基準

県産木材の使用状況、PR効果、意匠（デザイン）の３項目において評価を行い、合計得点が60点以上の施設を県HP等で公表し、合計点数の上位５施設程度に「やまがた しあわせウッド賞」を授与する。

３ 採点表

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 施設名 |  | | | |
| 項　目 | 評価（該当に○） | | | 得　点 |
| １ 県産木材の使用状況  ＜審査項目＞  ・県産木材使用量  （利用割合50％以上、工事費10％以上）  ・県産木材利用箇所 | 劣っている  １～４ | 普通  ５～７ | 優れている  ８～１０ | 小計×３ |
| ２　PR効果  ＜審査項目＞  ・利用予定者数  ・PRの取組内容 | 劣っている  １～４ | 普通  ５～７ | 優れている  ８～１０ | 小計×３ |
| ３　意匠（デザイン）  ＜審査項目＞  ・木材の良さが活かされているか  ・施設の目的に適したデザインか | 劣っている  １～４ | 普通  ５～７ | 優れている  ８～１０ | 小計×４ |
| 計（１００点満点） | | | |  |

別添

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　　年　　月　　日

やまがた県産木材利用センター理事長　殿

申 請 者

代表者名

住　　所

電話番号

山形県県産木材利用施設顕彰申請書

　「山形県県産木材利用施設顕彰～やまがた しあわせウッド賞～実施要領」第７の規定に基づき、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

１．建設工事概要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施設名 |  | | |
| 建設場所の住所 |  | | |
| 工　期 | 令和　　年　　月　～　令和　　年　　月 | | |
| 施設の延床面積 | 延床面積  　　㎡ | 建築面積  ㎡ | |
| 構　造 |  | | |
| 建設工事費（税込）    万円（A） | 木工事費（税込）  万円（B） | | 木工事費割合(B/A×100)  ％ |
| 木材使用量  ㎥（C） | 県産木材使用量  ㎥（D） | | 県産木材使用割合(C/D×100)  ％ |
| 県産木材の主な産地 | | 県産木材の主な樹種 |

注１　『木工事費割合』欄には、 木工事費(B)／建築工費 (A)×100で算出される数値を記入する（おおむね10％以上）。

注２　『県産木材使用量』欄には、納品書等により産地が確認できる木材の使用量を記入する。この場合、使用する部位は構造材に限定しない。

注３　『県産木材使用割合(％)』欄には、県産木材使用量 (D)／木材使用量(C)×100で算出される数値を記入する（おおむね50％以上）。

（第１面）

２．施工者等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 工 事  関係者 | 設　　計　　者 | 施　　工　　者 | 県 産 木 材 納 品 者 |
|  |  |  |
| 住 所 | 〒 | 〒 | 〒 |
| 氏 名 | （代表者氏名）  　　　　　　　　　　㊞ | （代表者職氏名）  　　　　　　　　　　　㊞ | （代表者職氏名）  　　　　　　　　　　　㊞ |
| 電話番号 | （　　　） | （　　　） | （　　　） |
| FAX番号 | （　　　） | （　　　） | （　　　） |

３．添付書類

　①納品書・出荷証明書等の写し（木材の使用量と産地が確認できる書類）

　②建築確認済証及び検査済証の写し

③敷地及び建物配置図、平面図、立面図の写し

④施設の利用状況、建築の際工夫した事項を記した書類（別紙）

⑤施設の外観及び木造・木質箇所が分かるカラー写真

⑥全体工事費と木工事費が確認できる書類の写し

（第２面）

別紙

施設の利用状況、建築の際工夫した事項

|  |  |
| --- | --- |
| 施設の利用内容 |  |
| 施設の利用予定者数（年間） |  |
| 建築の際工夫した事項 |  |

（第３面）